学習指導案　略案様式（特別の教科　道徳を除く）

３年１組	指導者	○○○○	教科等	体育科

単元

単元名等	ゴール型ゲーム「タグラグビー」		
	目標	**評価規準**	⇦ ※どちらかを選択し、　　で囲ってください。
	知識及び技能	知識・技能	○タグラグビーの行い方について、言ったり書いたりしている。 ○ボールを持ったときにゴールに体を向けることができる。 ◆味方にボールを手渡したり、パスを出したり、ゴールにボールを持ち込んだりすることができる。
	思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	○攻めを行いやすいようにするなどの規則を選んでいる。 ○ボールを持っている人とボールを持っていない人の役割を踏まえた作戦を選んでいる。 ○パスを出したり、ゴールにボールを持ち込んだりするときの工夫を友達に伝えている。
	学びに向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度	○ゲームに進んで取り組もうとしている。 ○規則を守り、誰とでも仲良くしようとしている。 ○用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ○ゲームの勝敗を受け入れようとしている。 ○友達の考えを認めようとしている。 ○場や用具の安全を確かめている。
	単元の学習展開（全９時間）		
導入	□学習の進め方の見通しをもつ		
展開	□基本的なボール操作を身に付け、ルールを覚える □チームに合った簡単な作戦を選ぶ		
終末	□これまで学習したことを活かしてタグラグビー大会をする		

本時（５／全９時間）

ねらい	タグラグビーのゲームを通して、チームに合った作戦を選んだり、作戦に合った練習をしたりすることにより、味方にボールを手渡したり、パスを出したり、ゴールにボールを持ち込んだりすることができるようにする。 （下線部…単元の評価規準との関連【◆知・技　観察・ＩＣＴ】）	
学習過程	「めあて」 「チームに合った作戦を選んだり、チーム練習をしたりして、得点につながる動きをしよう」 「振り返り」の視点 ・得点につながる動きをする中で、できたことやもっとやってみたいこと	
努力を要する状況の児童生徒に対する手立て	【予想されるつまずき】	【必要な支援・手立て】
	ボールを誰もいないところに放り投げたり、トライしたりすることができていない	仲間を見てからボールの手渡しやパスをしたり、ボールを持つ人のすぐ後ろについて受け取ったりする等、周りの動きを把握できるような言葉かけや練習の支援を行う